

6 食卓でできる「いきもの観察」(シラス編)

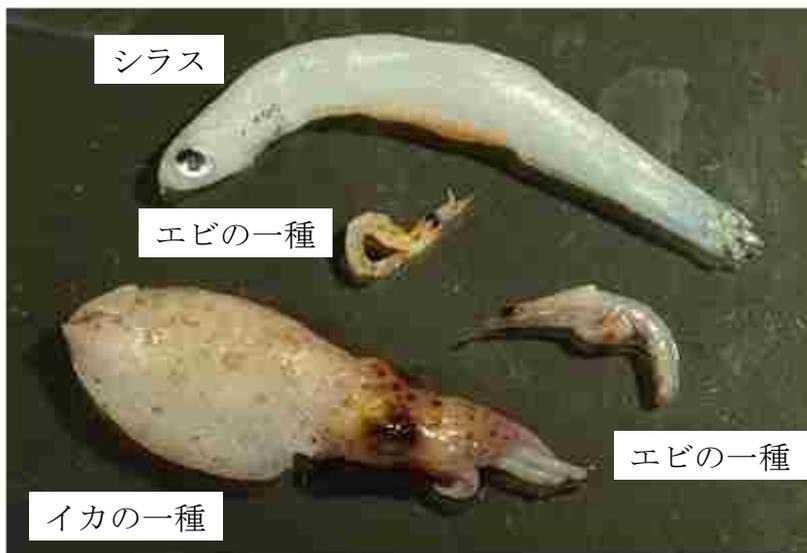
用意するもの

シラス、虫めがね、ピンセット

やりかた

- 1 シラスの入ったパックを観察し、シラスとシラス以外の小動物を取り出す。
- 2 取り出した小動物を水に戻し、虫めがねで観察する。

観察例(平成22年5月23日撮影)



シラスの頭部



エビの一種



エビの一種
尾が取れています。



イカの全形
赤く見えるのは、色素細胞で、体色変化に関係しています。



イカの頭部
イカは頭足類といって、眼のすぐ下に足が見られます。



イカの腹部
丸い部分中に内臓が入っています。

参考

1匹のイワシが産卵する数は、3万とも5万ともいわれ、卵から生まれた稚魚は他の生物の重要な餌となっています。つまり、海の生物の食物連鎖を支える重要な役割を持っているのです。シラスは、下の食物連鎖でいうと、小型の魚に位置付けられます。

植物プランクトン→動物プランクトン→小型の魚→中型の魚→大型の魚